

【事故】

令和3年度 第1回 富山県道路安全・円滑化検討委員会 安全走行阻害箇所関係 説明資料

－ 目 次 －

- | | |
|---------------------------|------|
| 1. これまでの検討経緯 | P 1 |
| 2. 意見に対する回答 | P 4 |
| 3. 令和3年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定 | P 6 |
| 4. 令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定 | P1 2 |
| 5. 令和3年度 安全走行阻害箇所数 | P1 8 |
| 6. 今後の進め方について | P1 9 |

令和3年8月4日(水)

1. これまでの検討経緯

(1) 令和2年度の委員会の確認内容

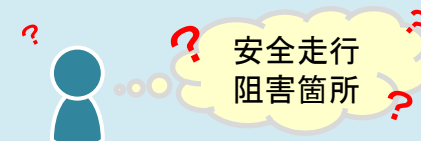
9月

検討委員会の開催

- ①最新事故データによる安全走行阻害箇所の解除・追加判定
- ②今後の進め方

<委員からの意見>

- 安全走行阻害箇所という名称が分かりづらいため、一般の人でもわかるよう
名称を工夫した方が良い



(2) 令和3年度の委員会の検討内容

8月

検討委員会の開催

- ①意見に対する回答
 - ・安全走行阻害箇所の名称変更
 - ・新型コロナウイルスによる事故への影響
- ②最新事故データによる安全走行阻害箇所の解除・追加判定
- ③今後の進め方

- 新型コロナウイルス感染対策における外出自粛により、富山県の事故への影響が見られるか



1. これまでの検討経緯

(3) 富山県の安全走行阻害箇所の抽出基準と箇所数

- 安全走行阻害箇所は、①事故危険箇所、②事故多発箇所、③アンケート抽出箇所の3条件を基に抽出。
- 令和2年度時点で173箇所(国93、県80)を登録。

【富山県安全走行阻害箇所の抽出基準】

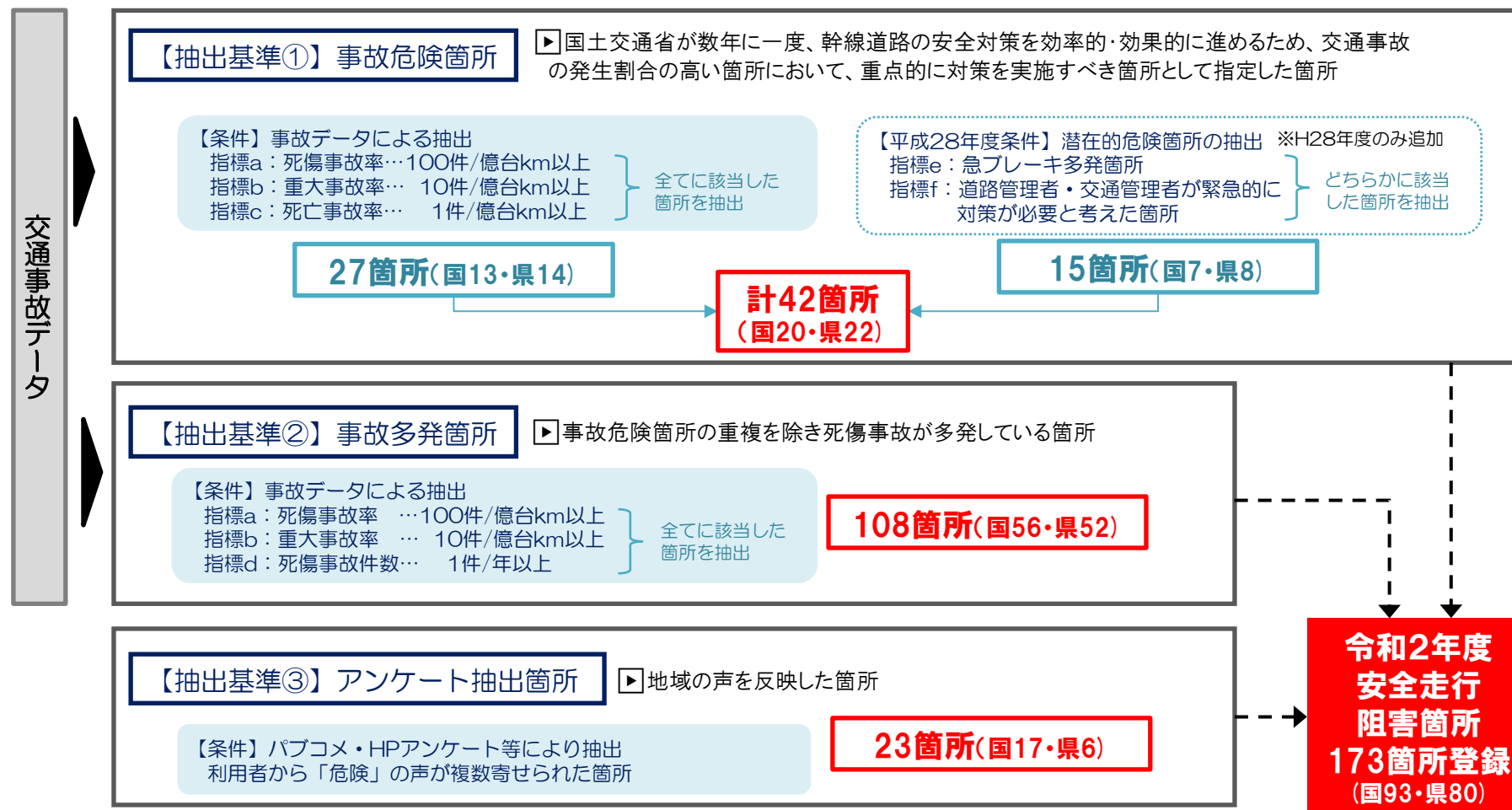


図-1 安全走行阻害箇所抽出基準と登録箇所数

1. これまでの検討経緯

(4) 安全走行阻害箇所の解除・追加フロー

- 安全走行阻害箇所の解除・追加は、最新事故データで評価し抽出基準の該当状況を整理。
- 平成29年度委員会で承認を受けた「安全走行阻害箇所解除・追加フロー」に基づき候補箇所を選定。

【安全走行阻害箇所の解除フロー】

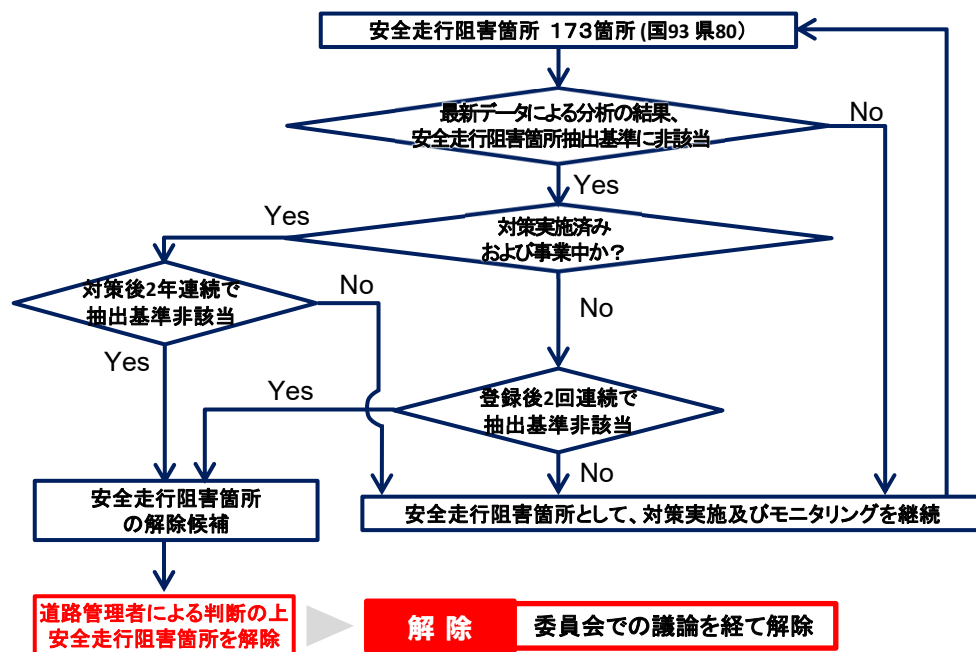


図-2 安全走行阻害箇所解除フロー
(平成29年度委員会にて決定)

【安全走行阻害箇所の追加フロー】

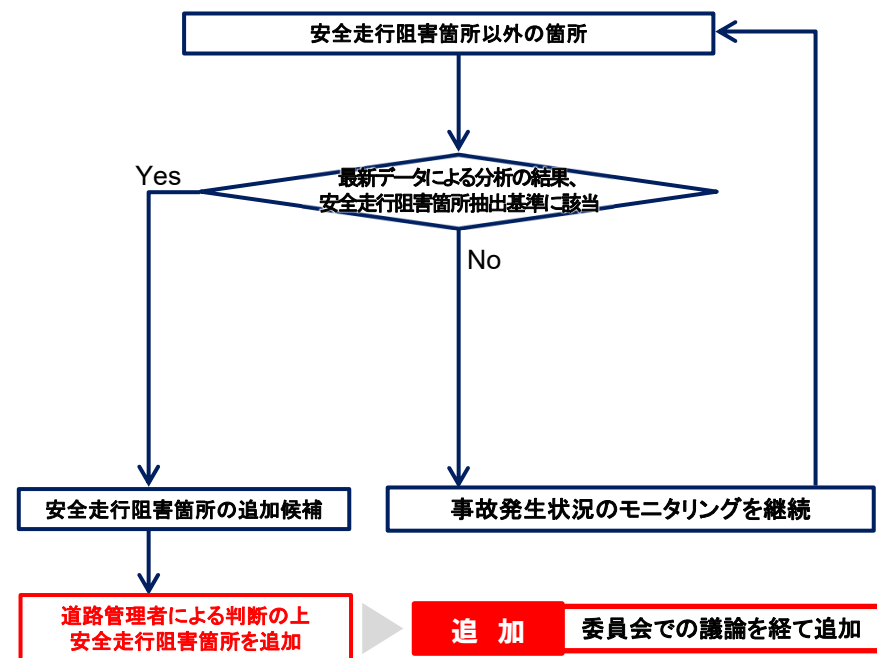


図-3 安全走行阻害箇所追加フロー
(平成29年度委員会にて決定)

2. 意見に対する回答

(1) 安全走行阻害箇所の名称の変更案

- 令和2年度の委員会において、「安全走行阻害箇所」の名称が分かりづらいという意見が挙げられた。
- 近県では、「事故危険区間」が多く使用されており、一般の人でも認識しやすいと考えられるため、「事故危険区間」に変更することを提案。

<令和2年度委員会>

委員



<意見>

安全走行阻害箇所という名称が分かりづらいため、
一般の人でもわかるよう名称を工夫した方が良い

近県の名称

表-3 近県の抽出区間名称

都道府県	抽出区間名称
富山県	安全走行阻害箇所
新潟県、石川県、山梨県、 岐阜県、愛知県、静岡県、 福井県、滋賀県、群馬県	事故危険区間
長野県	ハラハラ箇所

事故危険区間
が多く認識されやすい

2. 意見に対する回答

(2) 新型コロナウイルスによる事故への影響

- 令和2年度の委員会において、新型コロナウイルス感染対策における外出自粛により、富山県の事故への影響について意見が挙げられた。
- 緊急事態宣言が発令された令和2年の4月～5月の死傷事故件数は、H30年・R1年より約4～5割減少しており、外出自粛による交通量の減少が要因と推察。
- 死傷事故件数に占める死亡事故件数の割合は、例年と比較して大きな変化は見られない。

<令和2年度委員会>

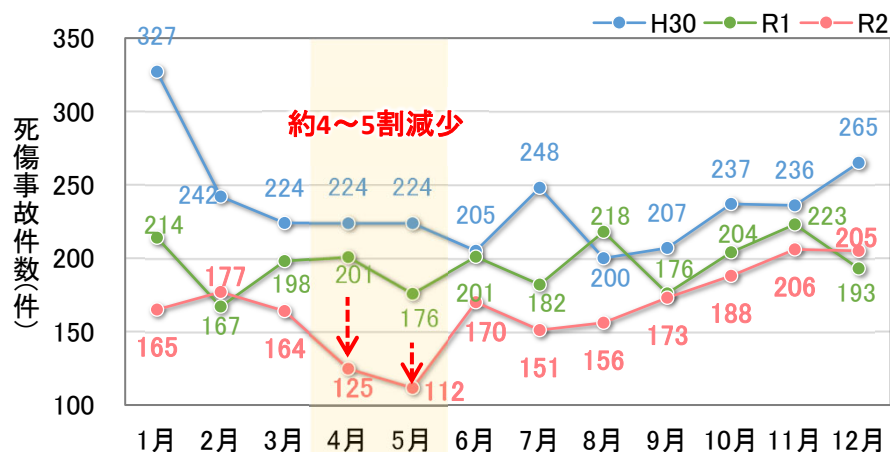
委員



<意見>

新型コロナウイルス感染対策における外出自粛により、富山県の事故への影響は、見られるか？

【富山県の月別死傷事故発生件数】

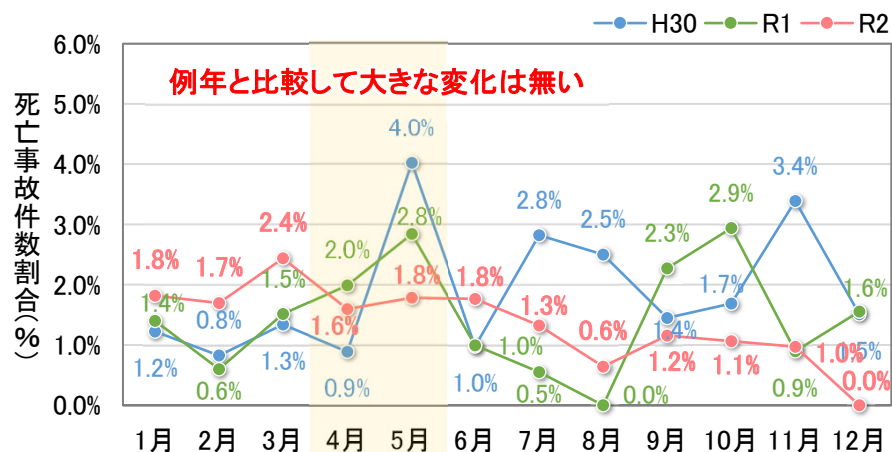


R2.4/16～5/14

緊急事態宣言発令期間

図-36 富山県の月別死傷事故発生件数

【富山県の月別死亡事故件数割合】



例年と比較して大きな変化は無い

R2.4/16～5/14

緊急事態宣言発令期間

図-37 富山県の月別死亡事故件数割合

出典：富山県警察交通事故白書

3. 令和3年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定

(1) 解除候補箇所の選定

- 安全走行阻害箇所のうち、最新事故データ(平成28年～令和元年)による選定の結果、解除候補箇所は80箇所。(国管理37箇所、県管理43箇所)
- 解除判定は、道路管理者による判断の上解除箇所を絞り込み、委員会での議論を経て、安全走行阻害箇所を解除する。

【解除候補箇所の抽出フロー】

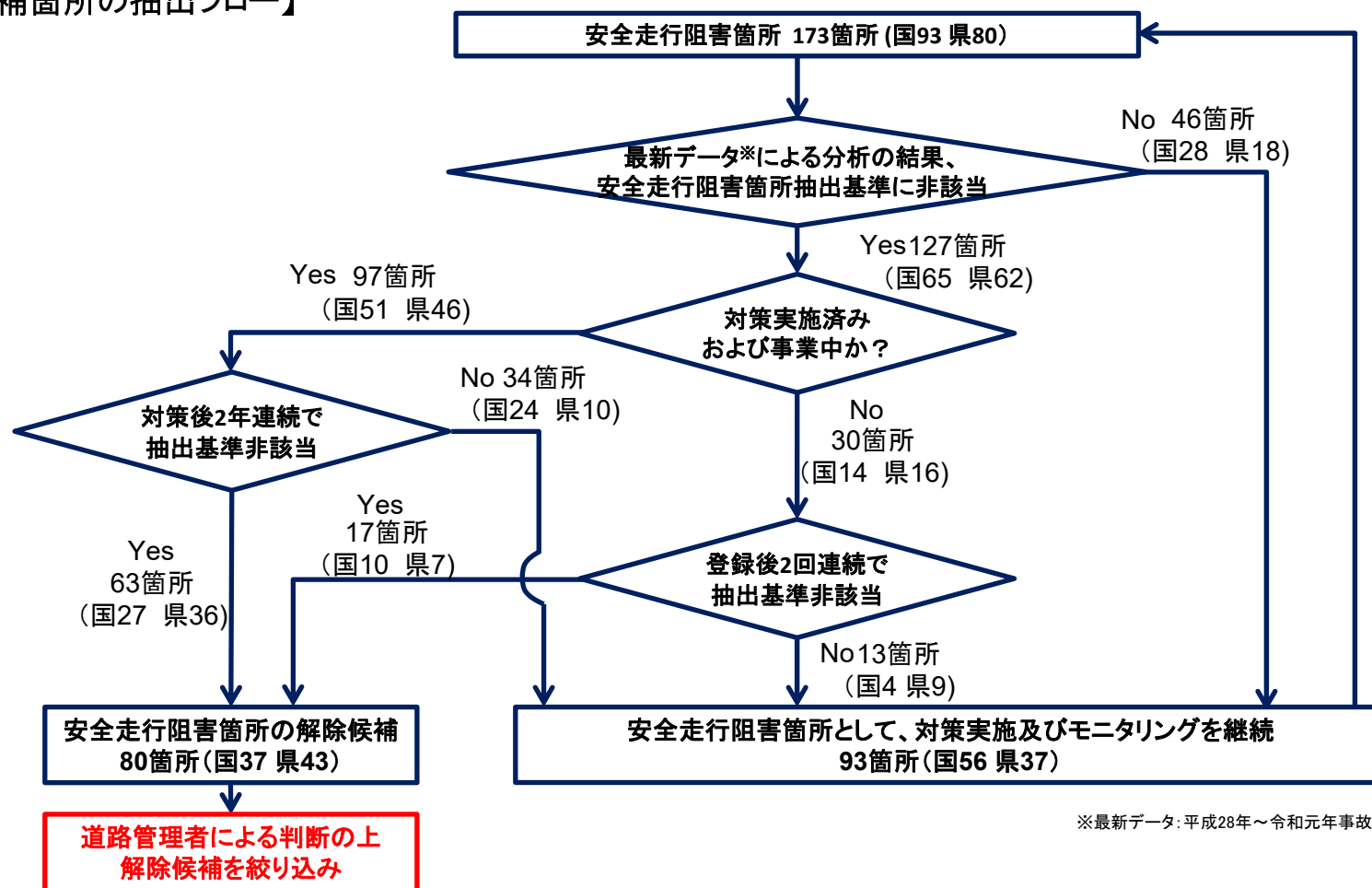


図-4 解除候補箇所選定

3. 令和3年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

(2) 道路管理者による解除判定結果

- 安全走行阻害箇所からの解除は、解除候補箇所のうち事故の危険性がより低い16箇所を解除。

表-1 解除箇所

管理 事務所	No	市町村名	道路 種別	路線 番号	地点名	最新事故データ(H28-R1年事故)				対策内容	道路管理者による判断
						死傷事故率 (件/億台km)	重大事故率 (件/億台km)	死亡事故率 (件/億台km)	死傷事故件数 (件/年)		
富山河川 国道事務所	1	魚津市	国道	8	吉島	0.0	0.0	0.0	0.0	入善黒部バイパス事業 (H27年)	事故の減少が明確な箇所
	2	富山市	国道	41	掛尾町～今泉南交差点	27.8	9.3	0.0	0.8	減速路面標示設置 (H26年)	
	3	富山市	国道	41	星井町交差点	63.4	0.0	0.0	0.8	注意喚起路面標示設置等 (H29年)	
	4	富山市	国道	41	千石町三丁目交差点	63.4	0.0	0.0	0.8	—	
	5	富山市	国道	41	荒町西交差点	26.2	0.0	0.0	0.3	注意喚起標識設置「事故危険区間」 (H29年)	
	6	氷見市	国道	160	窪	0.0	0.0	0.0	0.0	左折車線設置 (H29年)	
	7	氷見市	国道	160	窪交差点	0.0	0.0	0.0	0.0	右折分離ゼブラ帯設置 (H29年)	
富山県管 理	8	富山市	国道	359	外輪野交差点	48.5	0.0	0.0	0.3	区画線の引き直し 右折レーン延伸 (H23.7完了)	
	9	砺波市	国道	359	九本杉交差点	88.2	0.0	0.0	0.5	区画線(減速ドットライン)設置(交安2種) (H23.6完了)	
	10	立山町	県道	3	立山土木事務所前	50.7	0.0	0.0	0.3	停止線手前に明色舗装(フレッシュアップ) (H23.6完了)	
	11	高岡市	県道	40	林新46	0.0	0.0	0.0	0.0	交差点内明色舗装、区画線(外側ドットライン)設置 (H23年)	
	12	富山市	県道	44	呉羽町6444番1	42.9	0.0	0.0	0.8	歩道拡幅、カラー舗装、交差点レイアウトの変更、 歩道フラット化等(H25年)	
	13	富山市	県道	56	本郷町(四)交差点	50.8	0.0	0.0	0.3	暫定対策として蛍光ステッカー等による注意喚起 (H24年)	
	14	富山市	県道	172	米田町1丁目11-8	80.4	0.0	0.0	0.5	路面表示による注意喚起 (H25.3完了)	
	15	射水市	県道	204	本江2383番地	0.0	0.0	0.0	0.0	標識、停止線の設置 (H29.12完了)	
	16	高岡市	県道	350	吉久1丁目1番地-9 (新吉久電停部)	15.9	0.0	0.0	0.3	歩道及び電停の設置 (H29.10完了)	

():対策完了年

16箇所解除

3. 令和3年度 安全走行阻害箇所解除箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の解除箇所位置図

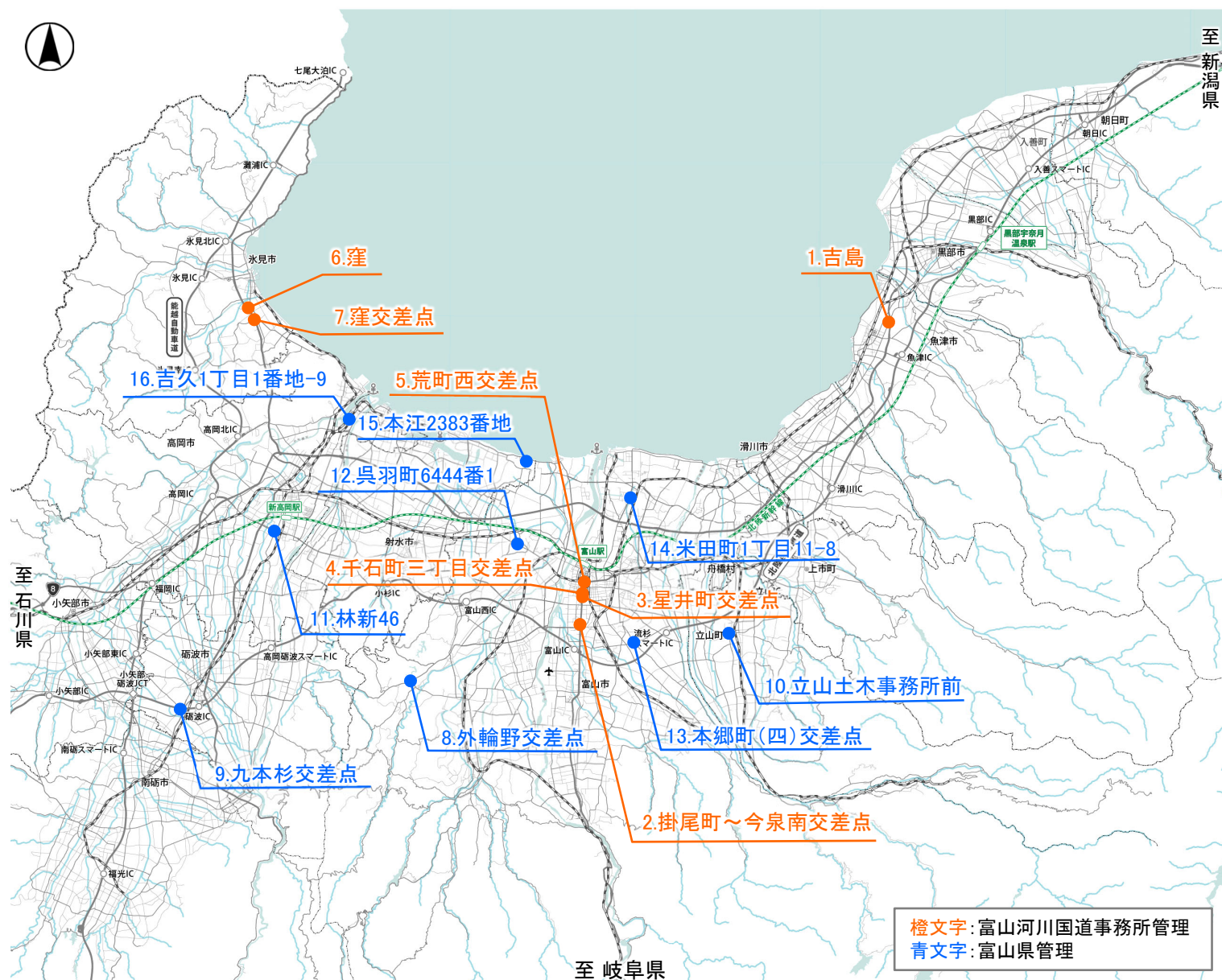


図-5 安全走行阻害箇所解除箇所位置図

3. 令和3年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定

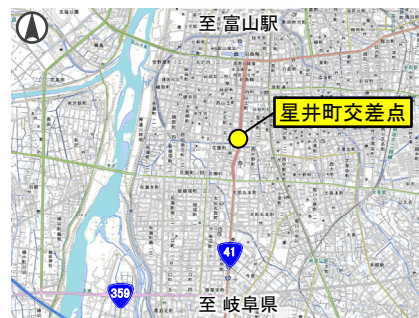
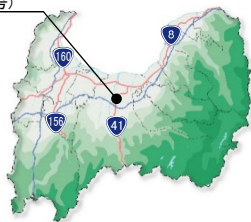
■ 安全走行阻害箇所の解除箇所の事例

国道41号 星井町交差点 ほし い まち 【抽出基準②：事故多発箇所】

- 事故発生状況：交差点手前での追突事故と左折事故が多発。
- 対策内容：ドットライン、注意喚起路面標示「歩行者注意」設置（H29年完了）
- 対策効果：対策後、**死傷事故が約8割減少**。（選定時 3.00件/年→対策後 0.50 件/年）
- 判定：最新事故データより解除判定に該当するため、**安全走行阻害箇所から解除**。

《位置図》

星井町交差点
(国道41号)



※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

図-6 位置図

《対 策》



【写真撮影日】平成29年9月29日（金）



【写真撮影日】平成29年9月22日（金）

図-7 対策実施の概要

《事故発生状況》

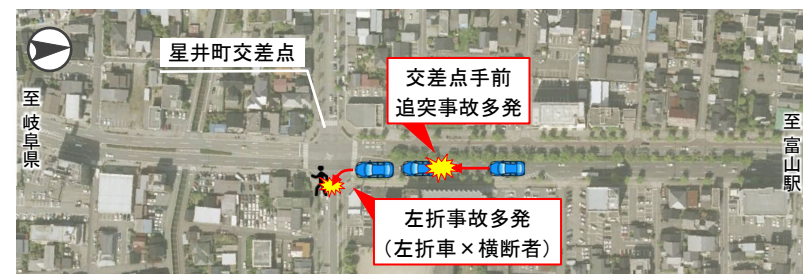
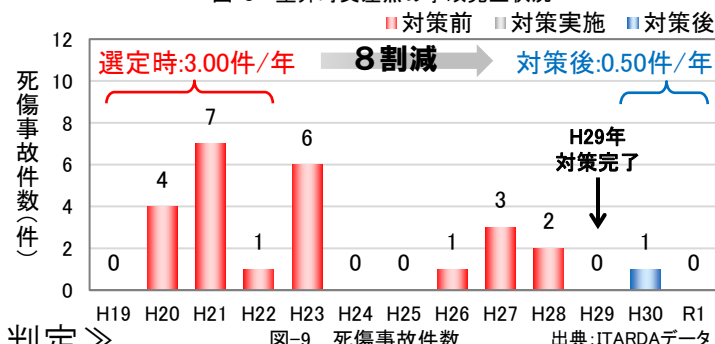


図-8 星井町交差点の事故発生状況 ※地理院地図に一部追記



《判定》

■ 選定時の事故データ

(平成19年～平成22年)

- ①死傷事故率 :218.9件/億台km
- ②重大事故率 :54.7件/億台km
- ③死亡事故率 :0.0件/億台km
- ④死傷事故件数:3.00件/年

■ 最新の事故データ

(平成28年～令和元年)

- ①死傷事故率 :63.4件/億台km
- ②重大事故率 :0.0件/億台km
- ③死亡事故率 :0.0件/億台km
- ④死傷事故件数:0.75件/年

解除

3. 令和3年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定

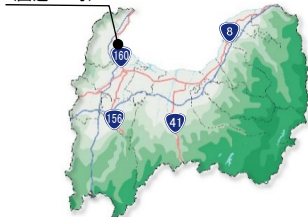
■ 安全走行阻害箇所の解除箇所の事例

国道160号 ^{くぼ} 窪交差点 【抽出基準②：事故多発箇所】

- 事故発生状況：交差点内で右折事故が多発。
- 対策内容：右折分離ゼブラ設置（H28年事業化、H29年完了）
- 対策効果：死傷事故が皆減。（選定時 2.50件/年→対策後 0.00 件/年）
- 判定：最新事故データより解除判定に該当するため、安全走行阻害箇所から解除。

《位置図》

窪交差点
(国道160号)



※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

図-10 位置図

《対 策》



【写真撮影日】平成30年12月13日（木）



【写真撮影日】平成29年3月7日（火）

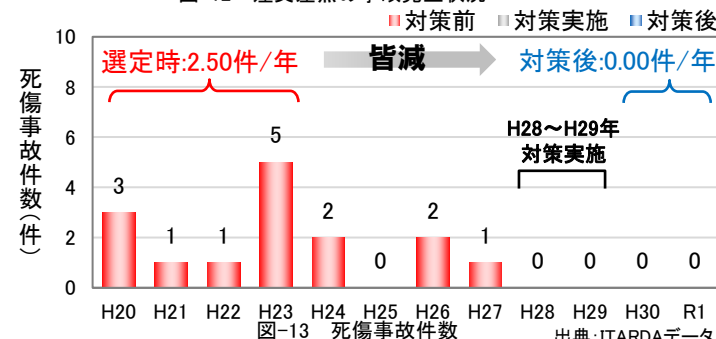
図-11 対策実施の概要

《事故発生状況》



図-12 窪交差点の事故発生状況

※地理院地図に一部追記



《判定》

■ 選定時の事故データ (平成20年～平成23年)

- ①死傷事故率 : 247.3 件/億台km
- ②重大事故率 : 24.7 件/億台km
- ③死亡事故率 : 0.0 件/億台km
- ④死傷事故件数 : 2.50 件/年

■ 最新の事故データ (平成28年～令和元年)

- ①死傷事故率 : 0.0 件/億台km
- ②重大事故率 : 0.0 件/億台km
- ③死亡事故率 : 0.0 件/億台km
- ④死傷事故件数 : 0.00 件/年

解除

3. 令和3年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定

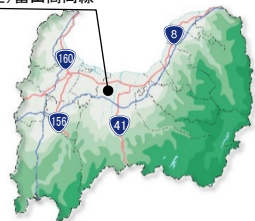
■ 安全走行阻害箇所の解除箇所の事例

(主) 富山高岡線 呉羽町6444番1 くれ は まち 【抽出基準①：事故危険箇所】

- 事故発生状況：区間全体で追突事故や出会い頭事故、対人事故が多発し、うち1件は死亡事故。
- 対策内容：横断歩道や歩道たまり場のカラー舗装等（H25年完了）
- 対策効果：死傷事故が約6割減少。（選定時 2.50件/年→対策後 1.00件/年）
- 判定：最新事故データより解除判定に該当するため、安全走行阻害箇所から解除。

《位置図》

呉羽町6444番1
(主)富山高岡線



※電子地形図25000(国土地理院)に一部追記

図-14 位置図

《対 策》



【写真撮影日】平成22年11月11日(木)



【写真撮影日】令和3年7月13日(火)

図-15 対策実施の概要

《事故発生状況》

選定時の事故(H20～H23) ●:対人 ●:追突 ●:出会い頭

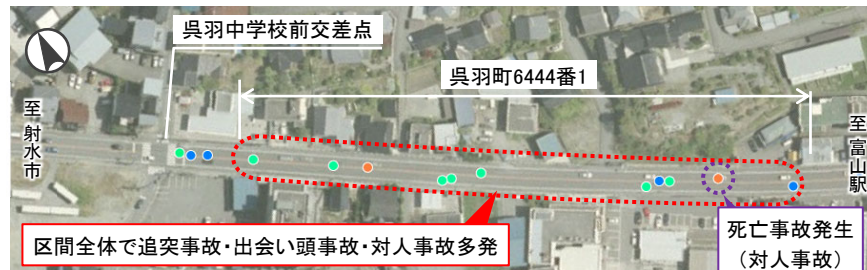
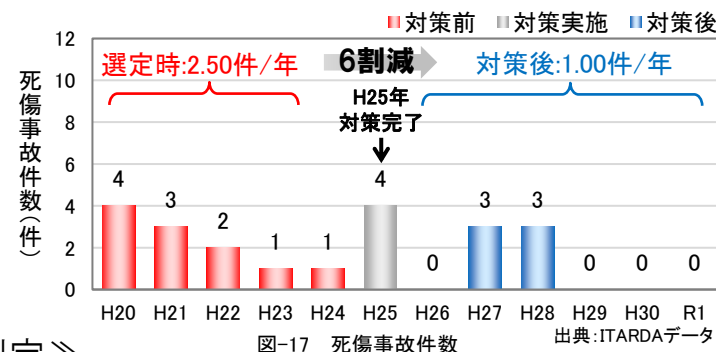


図-16 呉羽町6444番1の事故発生状況 ※地理院地図に一部追記



《判定》

■ 選定時の事故データ
(平成20年～平成23年)

- ①死傷事故率：175.0件/億台km
- ②重大事故率：17.5件/億台km
- ③死亡事故率：17.5件/億台km
- ④死傷事故件数：2.50件/年

■ 最新の事故データ
(平成28年～令和元年)

- ①死傷事故率：42.9件/億台km
- ②重大事故率：0.0件/億台km
- ③死亡事故率：0.0件/億台km
- ④死傷事故件数：0.75件/年

解除

4. 令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

(1) 追加候補箇所の選定

- 安全走行阻害箇所以外の箇所のうち、最新事故データ(平成28年～令和元年)による選定の結果、追加候補箇所は83箇所。(国管理20箇所、県管理63箇所)
- 追加判定は、道路管理者による判断の上追加箇所を絞り込み、委員会での議論を経て、安全走行阻害箇所へ追加する。

【追加候補箇所の抽出フロー】

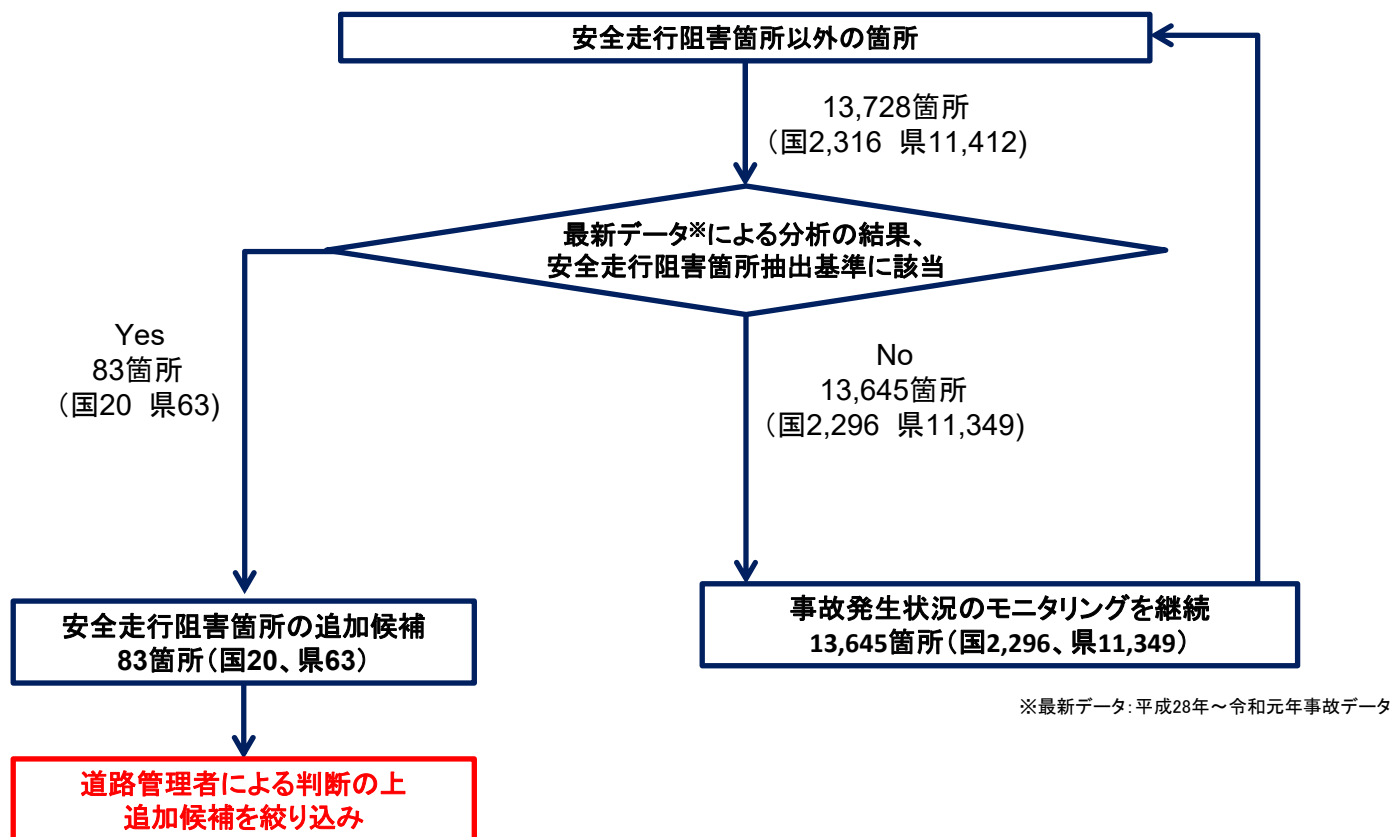


図-18 追加候補箇所選定

4. 令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

(2) 道路管理者による追加箇所選定結果

- 追加候補箇所のうち対策の優先性が高い25箇所を選定。

表-2 追加選定箇所

管理 事務所	No	市町村名	道路 種別	路線 番号	地点名	距離標		死傷事故件数							道路管理者による判断
						始点	終点	死傷事故件数					H28-R1 死傷事故数 (件/年)	H28-R1 死傷事故率 (件/億台km)	
								H27	H28	H29	H30	R1			
富山 河川 国道 事務所	1	富山市	国道	41	下熊野南交差点	240,949		2	2	2	1	2	1.75	215.7	毎年死傷事故発生
	2	富山市	国道	41	下熊野（無名交差点）	241,240		1	1	1	0	2	1.00	123.2	毎年死傷事故発生
	3	富山市	国道	41	一番町～大手町3	247,308	247,469	2	0	2	2	1	1.25	130.3	毎年死傷事故発生
	4	富山市	国道	41	田中町交差点	250,410		1	2	3	1	3	2.25	235.4	毎年死傷事故発生・近年死傷事故多発
	5	高岡市	国道	156	卸売市場口交差点	214,745		0	1	3	1	3	2.00	259.3	毎年死傷事故発生・近年死傷事故多発
	6	高岡市	国道	160	西海老坂交差点	42,828		2	2	3	0	2	1.75	139.7	毎年死傷事故発生
	7	高岡市	国道	160	守山交差点	43,030		1	3	1	2	1	1.75	177.5	毎年死傷事故発生
富山 県管 理	8	高岡市	県道	351	中曽根(東)交差点	531		1	0	1	2	1	1.00	249.5	毎年死傷事故発生
	9	富山市	県道	3	青葉町交差点	1,880		1	1	3	1	1	1.50	154.8	毎年死傷事故発生
	10	富山市	県道	6	堤町通り1丁目交差点	320		1	1	1	1	1	1.00	110.8	毎年死傷事故発生
	11	富山市	県道	6	天正寺交差点	3,158		3	0	0	2	3	1.25	148.8	近年死傷事故多発
	12	高岡市	県道	24	江尻～荻布	4,637	4,837	2	3	0	1	3	1.75	101.1	毎年死傷事故発生・近年死傷事故多発
	13	富山市	県道	43	開発駅前交差点	999,999		0	1	1	1	1	1.00	521.4	毎年死傷事故発生
	14	富山市	県道	44	五福末広町交差点	1,891		1	2	0	3	1	1.50	170.2	毎年死傷事故発生
	15	富山市	県道	44	五福地先	2,052	2,256	3	1	4	5	2	3.00	168.5	毎年死傷事故発生
	16	高岡市	県道	44	三女子～野村	3,562	3,762	1	1	3	0	3	1.75	117.5	毎年死傷事故発生・近年死傷事故多発
	17	高岡市	県道	44	中川本町交差点	18,570		1	0	2	3	1	1.50	201.4	毎年死傷事故発生
	18	富山市	県道	56	五福一区交差点	1,701		2	0	1	1	2	1.00	113.6	毎年死傷事故発生
	19	富山市	県道	56	天正寺無信号交差点	8,798		2	1	2	1	1	1.25	122.8	毎年死傷事故発生
	20	高岡市	県道	64	金谷本町地先	774	1,001	0	1	2	1	2	1.50	152.8	毎年死傷事故発生
	21	富山市	県道	65	太田北区(太田2127-1番地)	7,543		0	1	2	1	1	1.25	151.4	毎年死傷事故発生
	22	高岡市	県道	73	高岡武道館前交差点	185		0	1	2	1	1	1.25	175.6	毎年死傷事故発生
	23	富山市	県道	172	下富居一丁目交差点	5,007		2	1	1	2	1	1.25	115.4	毎年死傷事故発生
	24	富山市	県道	188	堀川町地先	30,493	30,731	1	0	1	2	2	1.25	112.2	毎年死傷事故発生
	25	富山市	県道	207	北代（無名交差点）	5,040		0	0	0	1	3	1.00	220.6	近年死傷事故多発

※最新データ: 平成28年～令和元年事故データ

25箇所追加

4. 令和3年度 安全走行阻害箇所への追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加箇所位置図

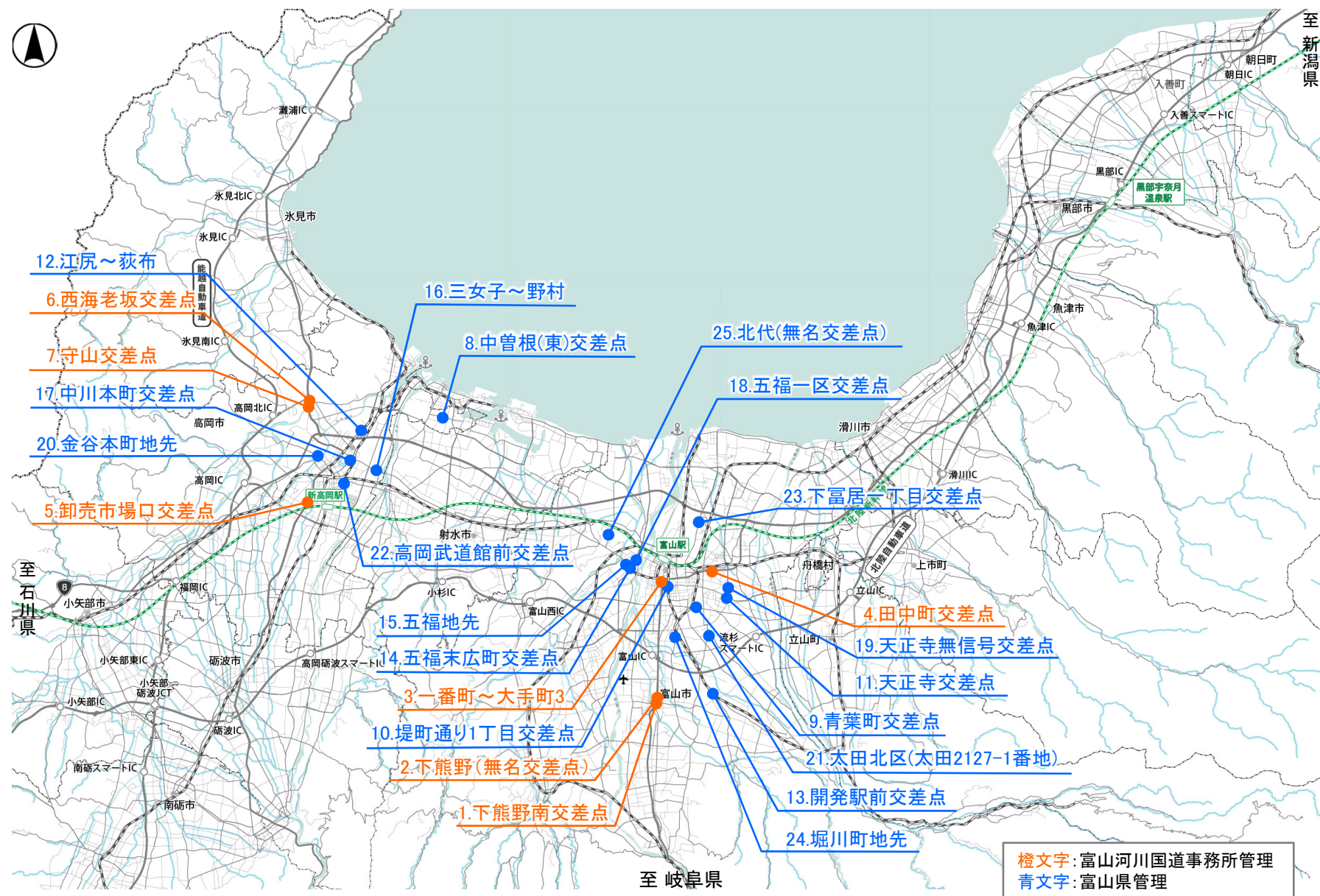


図-19 安全走行阻害箇所追加箇所位置図

4. 令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加候補箇所の事例

国道156号 卸売市場口交差点 おろしうり し じょう ぐち 【抽出基準：事故危険箇所】

- ① 卸売市場口交差点は、最新事故データで毎年死傷事故が発生しており、近年死傷事故が多発。
- ② 追突事故や右折事故が多発する他、交差点内で死亡事故が発生しており、対策の必要性が高い。

《位置図》



図-20

《事故概要》

- ・国道156号 卸売市場口交差点で発生している事故は以下の通り。
- ①下り線交差点手前追突事故 ②構造物に衝突する死亡事故
- ③交差点内右折事故 ④横断中の自転車と衝突する右左折事故

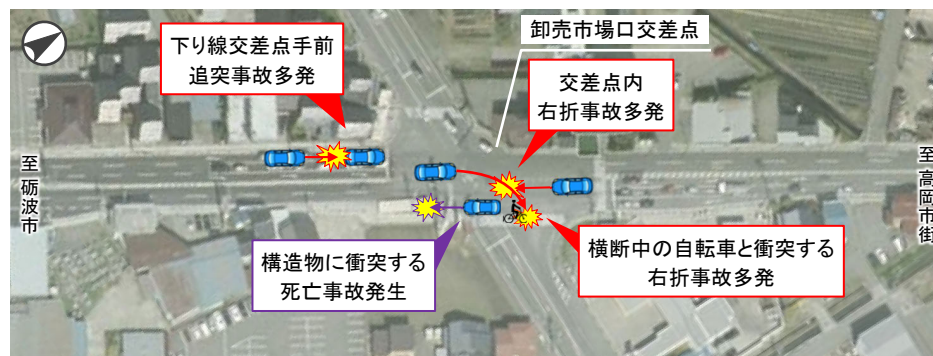


図-22 事故発生状況

※地理院地図に一部追記

《事故発生状況》

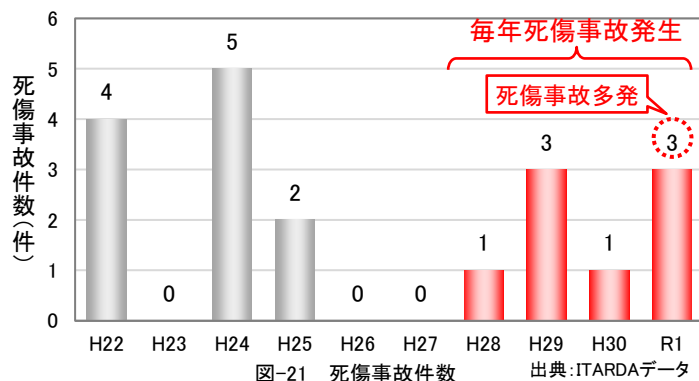


図-21 死傷事故件数

■ 抽出基準（卸売市場口交差点の事故データ）

（平成28年～令和元年）

- ①死傷事故率: 259.3 件/億台km
- ②重大事故率: 32.4 件/億台km
- ③死亡事故率: 32.4 件/億台km

事故危険箇所
抽出基準該当



図-23 下り線右折車線の状況

【写真撮影日】令和2年11月12日（木）



図-24 死亡事故発生箇所の状況

【写真撮影日】令和2年11月12日（木）

4. 令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加候補箇所の事例

(主) 富山立山魚津線 青葉町交差点 【抽出基準：事故危険箇所】

- ① 青葉町交差点は、最新事故データで毎年死傷事故が発生しており、対策の必要性が高い交差点。
- ② 当該交差点は、追突事故や対人事故が多発しており、うち1件は死亡事故。

《位置図》



図-25 位置図

《事故概要》

・青葉町交差点で多発している事故は、以下の通り。

- ① 対人事故(うち1件死亡事故)
- ② 追突事故

最新の事故(H28～R1)

○: 対人 ●: 追突 ●: 出会い頭
●: 左折 ●: 単独 ●: その他

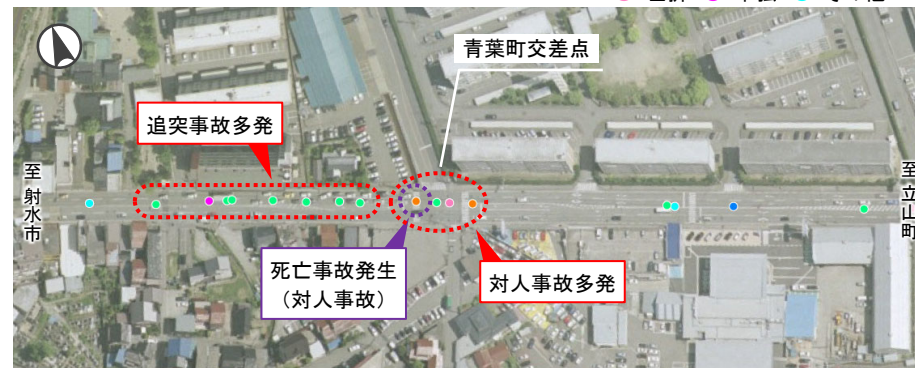
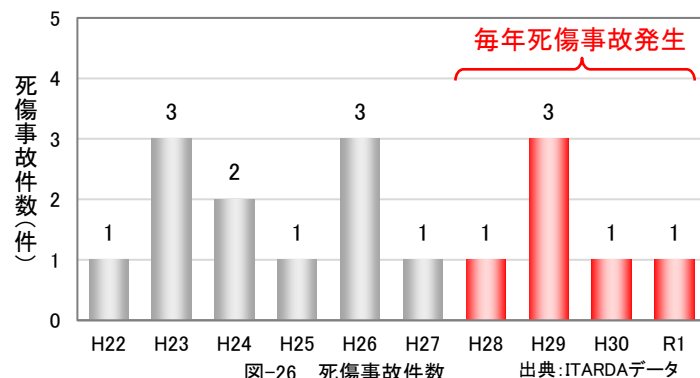


図-27 事故発生状況

※地理院地図に一部追記

《事故発生状況》



■ 抽出基準 (青葉町交差点の事故データ)

(平成28年～令和元年)

- ① 死傷事故率: 154.8 件/億台km
- ② 重大事故率: 51.6 件/億台km
- ③ 死亡事故率: 25.8 件/億台km

事故危険箇所
抽出基準該当



図-28 射水市側交差点流入部の状況

【写真撮影日】令和3年7月20日(火)



図-29 死亡事故発生箇所の状況

【写真撮影日】令和3年7月20日(火)

4. 令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定

■ 安全走行阻害箇所の追加候補箇所の事例

(主) 富山大沢野線 太田北区(太田2127-1番地) 【抽出基準：事故危険箇所】

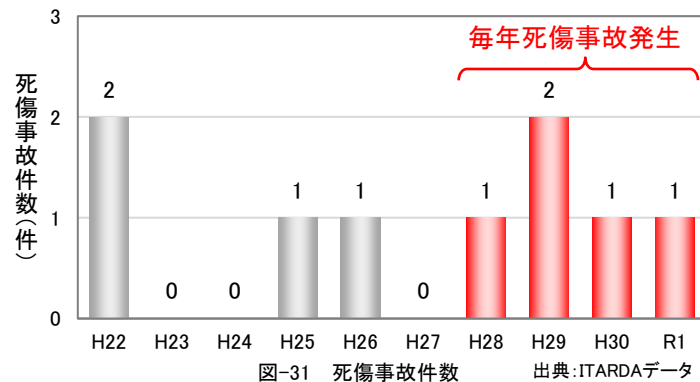
- ① 太田北区は、最新事故データで毎年死傷事故が発生しており、対策の必要性が高い交差点。
- ② 当該交差点は、出会い頭事故が多発しており、うち1件は死亡事故。

《位置図》



図-30 位置図

《事故発生状況》



■ 抽出基準 (太田北区(太田2127-1番地)の事故データ)
(平成28年~令和元年)

- ① 死傷事故率: 151.4 件/億台km
- ② 重大事故率: 30.3 件/億台km
- ③ 死亡事故率: 30.3 件/億台km

事故危険箇所
抽出基準該当

《事故概要》

・太田北区では、出会い頭事故が多発しており、うち1件は死亡事故である。

●:対人 ●:追突 ●:出会い頭 ●:右折



図-32 事故発生状況

※地理院地図に一部追記



図-33 下り線右折車線の状況

【写真撮影日】令和3年7月20日(火)



図-34 死亡事故発生箇所の状況

【写真撮影日】令和3年7月20日(火)

5. 令和3年度 安全走行阻害箇所数

■ 令和3年度安全走行阻害箇所まとめ

- 令和2年度安全走行阻害箇所173箇所のうち16箇所を安全走行阻害箇所として解除。
- 新たに国道156号卸売市場口交差点等の25箇所を安全走行阻害箇所へ追加。
- 令和3年度安全走行阻害箇所として182箇所を登録
(令和2年度安全走行阻害箇所173箇所-解除箇所16箇所+追加箇所25箇所)

【令和3年度安全走行阻害箇所数】

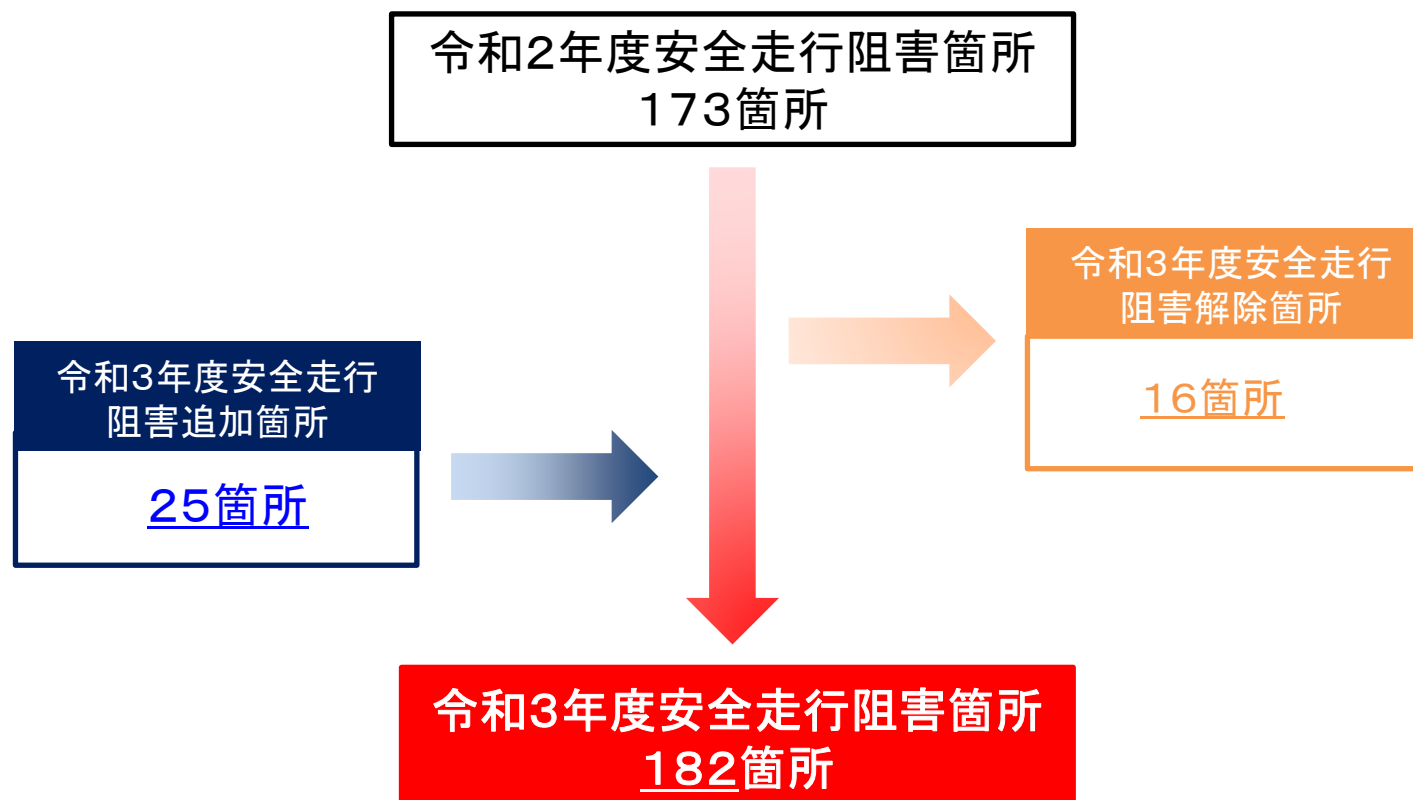


図-35 令和3年度安全走行阻害箇所数

6. 今後の進め方について

■ 今後の検討委員会の進め方

令和3年度 検討委員会（今回）

- ①意見に対する回答
 - ・安全走行阻害箇所の名称変更
 - ・新型コロナウイルスによる富山県事故への影響
- ②最新事故データによる安全走行阻害箇所の解除・追加判定
- ③今後の進め方

令和3年度安全走行阻害箇所の公表

- ・安全走行阻害箇所の更新結果

次回検討委員会の開催